



# 防災組合ニュース

THE BOSAI KUMIAI NEWS

日本防災設備協同組合 ●東京都文京区本郷一丁目15番6号 電 03-3813-9650(代)

URL <http://nichibou.main.jp/>

事務連絡 nichiboukyou1@ic.ocn.ne.jp

営業連絡 nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

## 社内回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 4 月度理事会の概要

- ◎ 理事長挨拶 . . . . . 1
- ◎ 各担当理事の業務報告 . . . . . 1
- ◎ 議案の審議結果 . . . . . 3

### 情 報

- ◎ 消防法施行規則等の一部を改正する省令（総務16）  
対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取り扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令（同17）官報第5767号 . . . 5
- パッケージ型自動消火設備及び維持に関する技術上の基準を定める件の一部を改正する件（消防庁2）  
消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件の一部を改正する件（同3）  
蓄電池設備の基準の一部を改正する件（同4）  
消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件（同5） 官報号外第69号 . . . 6～38

### 事務局だより

- ・ 共済制度について・注文は今後もFAXで、 . . . 39

## 4 月 度 理 事 会 概 要

開催日時 平成24年4月26日(木)14時30～17時30分  
開催場所 マイスペース飯田橋西口店・会議室  
出席役員数 11人

### (1) 理事長挨拶

皆様、ご多用中参集いただきありがとうございます。  
只今から4月度理事会を開催します。宜しくお願いします。

### (2) 3月度理事会議事録、及び4月度業務報告の確認。

### (3) 業務報告

#### ① 事務局運営・渉外

・組合員情報：

退会 林防災

・今後の予定：

5月18日(金) 全国消防機器販売業協会定時総会・交歓会  
荻理事長、藤岡副理事長、岡野事務局長

5月24日(木) 当組合第45回通常総会

5月25日(金) 神奈川県防災消防協同組合通常総会  
団体結成50周年記念式典及び祝賀会  
荻理事長

5月29日(火) 全国消防機器協会  
荻理事長、岡野事務局長

6月7日(木) 日本火災報知機工業会・平成24年度功労者  
表彰受賞者 荻 英夫

#### ② 広 報・防災組合ニュース

・「防災組合ニュース」4月10日号発行。

③ 教育

- ・防排煙設備実務講習会は3月19日（月）に実施。  
受講者12名、収支報告。

④ 福利厚生・企画：特になし。

⑤ 財務

- ・各位のご協力により、平成23年度決算を行い、4月23日（月）  
会計監査で監事の承認を得た。

⑥ 共同購買・共同受注

- ・各位のご協力により仕入の見直し等の事業展開を行い、ほぼ  
目標を達成できた。

⑦ 開発：特になし。

⑧ 研究部会・ビジネス交流会：特になし。

⑨ ネット推進委員会

- ・組合員への詳細説明会を5月総会終了直後に行う。

⑩ 防排煙設備検討委員会

- ・「防排煙設備実務必携Ⅰ」の販売状況及び「防排煙設備実務必  
携Ⅱ」の検討状況（第32回）の報告を行った。

⑪ 青年部：特になし。

⑫ 支部運営促進：

- ・5月25日（金）東京第3支部会の予定。

⑬ その他の事業：特になし。

#### (4) 議案の審議

##### 第1号議案 第45回通常総会の資料議案

- ・平成23年度事業報告(案)、及び平成24年度事業計画(案)・予算案について審議した。(承認)

##### 第2号議案 第45回通常総会に於ける役員改選について

- ・理事会からの推薦候補者の審議を行った。

(添付別紙参照 p5)

- ・理事長の選任は、総会に於いて役員(理事・監事)が決まり次第総会を休憩とし、休憩時間中に開催する理事会にて行う。

立候補により決める。立候補者が複数の場合は無記名投票により決める。

この結果を再開した総会に報告する。

#### (5) その他:

① 第45回通常総会行事内容と時間経過について添付別紙参照 p6)

② 次回理事会=移動理事会とする。

日時 6月27日(水)~28日(木)

場所 未定

## 平成24年4月度業務報告

・月 日 (曜)	・内 容 等	・来局理事等
3月15日 (木)	3月度理事会 業務決裁 . . . . . 藤岡副理事長 業務決裁 . . . . . 三役	
3月23日 (金)	業務決裁 . . . . . 広江専務理事	
3月29日 (木)	業務決裁 . . . . . 藤岡副理事長 (会社にて) 防災組合ニュース (4月10日号) 発行 *事務局長交替挨拶状同封 *第45回通常総会会日及び役員選挙の公告書同封	
4月 6日 (金)	業務決裁 . . . . . 広江専務理事	
4月 9日 (月)	業務決裁 . . . . . 藤岡副理事長 (会社にて)	
4月10日 (火)	第45回通常総会会日及び役員選挙の公告 (事務局掲示板)	
4月12日 (木)	第32回防排煙設備検討委員会 . . . . . 広江専務理事、 磯部理事	
4月16日 (月)	経理指導 . . . . . 小出会計事務所	
4月23日 (月)	会計監査 . . . . . 三役、監事、小出会計 事務局長 業務決裁 . . . . . 藤岡副理事長	
4月26日 (木)	4月度理事会 業務決裁 . . . . . 藤岡副理事長	

省令

○総務省令第十六号

消防法施行令(昭和三十六年政令第三十七号)第十二条第一項第三号及び第二十九条の四第一項の規定に基づき、消防法施行規則等の一部を改正する省令を次のように定める。  
平成二十四年三月二十七日

総務大臣 川端 達夫

消防法施行規則等の一部を改正する省令(消防法施行規則(昭和三十六年自治省令第六号)の一部を次に改正する。  
第十三条第一項中「第五号第十一項若しくは第十七項」を「第五号第十項若しくは第十六項」に改める。

(特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令の一部改正)  
第二条 特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令(平成二十七年総務省令第四十号)の一部を次のように改正する。

第一条 消防法施行規則(昭和三十六年自治省令第六号)の一部を次のように改正する。  
第十三条第一項中「第五号第十一項若しくは第十七項」を「第五号第十項若しくは第十六項」に改める。

(複合型居住施設における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令の一部改正)  
第三条 複合型居住施設における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令(平成二十二年総務省令第七号)の一部を次のように改正する。

第二条第一号中「第五号第十一項若しくは第十七項」を「第五号第十項若しくは第十六項」に改める。

附則  
この省令は、平成二十四年四月一日から施行する。

○総務省令第十七号  
消防法施行令(昭和三十六年政令第三十七号)第五号及び第五号の二の規定に基づき、対象火気器具等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する省令の一部を定める省令を次のように定める。

平成二十四年三月二十七日  
総務大臣 川端 達夫

対象火気器具等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する省令の一部を改正する省令  
対象火気器具等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する省令(平成十四年総務省令第二十四号)の一部を次のように改正する。  
第三条中「第十九号」を「第二十号」に改め、同条第十五号中「全出力二十キロワット以下のもの」の下に「及び第二十号に掲げるもの」を加え、同条に次の一号を加える。

二十 急速充電設備(電気を設備内部で変圧して、電気を動力源とする自動車等(道路交通法(昭和三十五年法律第五号)第二条第一項第九号に規定する自動車又は同項第十号に規定する原動機付自転車をいう。以下同じ。)に充電する設備(全出力二十キロワット以下のもの及び全出力五十キロワットを超えるものを除く。)をいう。以下同じ。)  
第十条に次の一号を加える。  
十三 急速充電設備にあつては、その筐体は可燃性の金属材料で造ること。  
第十二条に次の一号を加える。  
十 急速充電設備にあつては、堅固に床、壁、支柱等に固定すること。  
第十四条に次の一号を加える。  
七 急速充電設備にあつては、雨水等の浸入防止の措置が講じられたものとする。  
九 急速充電設備にあつては、次に掲げる措置を講ずること。  
イ 充電を開始する前に、急速充電設備と電気を動力源とする自動車等との間で自動的に絶縁状況の確認を行い、絶縁されていない場合には、充電を開始しないこと。  
ロ 急速充電設備と電気を動力源とする自動車等が確実に接続されていない場合には、充電を開始しないこと。  
ハ 急速充電設備と電気を動力源とする自動車等の接続部に電圧が印加されている場合には、当該接続部が外れないようにすること。

二 漏電、地絡及び制御機能の異常を自動的に検知する構造とし、漏電、地絡又は制御機能の異常を検知した場合には、急速充電設備を自動的に停止させること。

ホ 電圧及び電流を自動的に監視する構造とし、電圧又は電流の異常を検知した場合には、急速充電設備を自動的に停止させること。  
ヘ 異常な高温とならないこと。また、異常な高温となった場合には、急速充電設備を自動的に停止させること。  
ト 急速充電設備を手動で緊急停止させることができること。  
チ 自動車等の衝突を防止すること。  
十 急速充電設備のうち蓄電池を内蔵しているものにあつては、前号に掲げる規定のほか、当該蓄電池について次に掲げる措置を講ずること。  
イ 電圧及び電流を自動的に監視する構造とし、電圧又は電流の異常を検知した場合には、急速充電設備を自動的に停止させること。  
ロ 異常な高温とならないこと。また、異常な高温となった場合には、急速充電設備を自動的に停止させること。

第十七条の表放電加工工程の項及び変電設備の項中「第九号」を「第十号」に改め、同表内燃焼機関を原動力とする発電設備の項中、「第十一号及び第十二号」を「及び第十一号から第十三号まで」に、「第八号及び第九号」を「及び第八号から第十号まで」に、「第二号から第六号まで」を「第二号から第七号まで」に改め、同表蓄電池設備の項中「及び第九号」を「第九号及び第十号」に、「及び第六号」を「第六号及び第七号」に改め、同表ネオン管灯設備の項中「及び第十二号」を「第十二号及び第十三号」に改め、「第五号まで」の下に「及び第七号」を加え、同表舞台装置等の電気設備の項中「第十一号まで」の下に「及び第十三号」を加え、「及び第四号から第八号まで」を「第四号から第八号及び第十号」に改め、同表に次の一項を加える。

急速充電設備  
令第五条第一項第一号、第二号及び第四号並びに第十号第一号から第十二号まで、第十一号、第十二号、第十三号、第十四号、第十五号、第十六号及び第十七号並びに第十五号

附則

(施行期日)  
1 この省令は、平成二十四年十二月一日から施行する。  
(経過措置)  
2 この省令の施行の際現に設置され、又は設置の工事がされている急速充電設備のうち、この省令による改正後の対象火気器具等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する省令の規定に適合しないものについては、当該規定は、適用しない。

○総務省令第十八号  
補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和三十年政令第二百五十五号)第十四条第一項第二号の規定に基づき、総務省所管補助金等交付規則の一部を改正する省令を次のように定める。  
平成二十四年三月二十七日  
総務大臣 川端 達夫

総務省所管補助金等交付規則の一部を改正する省令  
総務省所管補助金等交付規則(平成二十二年総務府・郵政省・自治省令第六号)の一部を次のように改正する。  
別表補助金等の名称等の欄中「消防防災通信基盤整備費補助金」を「消防防災通信基盤整備費補助金」を、東日本大震災復興推進事業費補助金(ICT)による広域連携商業ネットワーク整備に係るものに限る。」に改める。

附則  
1 この省令は、公布の日から施行する。  
2 この省令による改正後の総務省所管補助金等交付規則の規定は、平成二十三年度に取得した財産からこれを適用する。



② 屋内消火栓消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
外 加圧送水装置 の 試験 機	水漏上界防止のための遮断装置	ブレースターポンプに設ける遮断配管・遮断装置	遮断配管の高さ m 遮断装置の設定圧力 MPa
	性能試験装置の配管・バルブ類	鋼板製・合成樹脂製	
	材料		
	水量		ℓ
	給排水管	管の呼び	A
	呼吸管	管の呼び	A
	補助給水管	管の呼び	A
	滅水警報装置	フロートスイッチ・電極	
	設置場所		
	制御装置	予備品等	種接地
内 高架水槽を用いるもの の 試験 機	圧力計・連成計	設置位置	級
	直接操作部	設置場所等	
	遠隔操作部	設置場所等	
	遠隔指示表	設置場所等	
	遠隔自動起動装置 (易操作機1号・2号消火栓)		
	起動用水圧閉閉装置	起動用圧力クランク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器
	クランクの容量		ℓ
	配管・バルブ類	管の呼び	A
	構造		
	内容積・落差		m <sup>3</sup> m
内 高架水槽を用いるもの の 試験 機	配管・バルブ類		
	内容積・落差		m <sup>3</sup> m
内 高架水槽を用いるもの の 試験 機	種類・構造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	MPa
内容積・有効圧力		m <sup>3</sup>	

③ 屋内消火栓消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
外 加圧送水装置 の 試験 機	加圧送水装置を用いるもの	自動加圧装置	有・無
	配管・バルブ類	配管・バルブ類	
		水位計・圧力計	
	設置状態	設置	有・無
		配管	
	機器	バルブ類	
		吸水管	
	副装置	フロート非	
		常用電	有・無
	非常電	源の種類	V
電			
内 消火栓 の 試験 機	消火栓の設置個数	1号消火栓	
		2号消火栓	
	設置場所	階	
		床面からの高さ	m
	周囲の状況・操作性	周囲の状況	
		操作性	
	開口弁設置高さ	開口弁設置高さ	
		ホース接続口	
	消火栓開閉弁	周囲の状況	
		設置状況	
材料	材質		
	表示灯		
表示	表示		
	ホース(結合金具を含む)		
ホース・ノズル	ノズル	1号消火栓・易操作機1号消火栓・2号消火栓	
	結合状態		



屋内消火栓消火設備

試験項目	試験状態	種別・容量等の内容	結果							
				試験項目	試験状態	種別・容量等の内容	結果			
機 機 機 機 機 機 機 機 機 機	ポンプを用いるもの	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	減水警報装置作動状況	
		自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況	自動給水装置作動状況
		呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況	呼吸機からの水の供給状況
		制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験	制御装置試験
		電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況	電源切替時の運転状況
		ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等	ポンプの起動状況等
		起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況	起動表示の点灯状況
		起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力	起動用水圧開閉装置の作動圧力
		運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況	運転状況
		縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程	縮切揚程
電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧		
電流	電流	電流	電流	電流	電流	電流	電流	電流		
定格揚程	定格揚程	定格揚程	定格揚程	定格揚程	定格揚程	定格揚程	定格揚程	定格揚程		
電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧		
電流	電流	電流	電流	電流	電流	電流	電流	電流		
※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	※水温上昇防止装置試験	
※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	※ポンプ性能試験装置試験	
高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	高圧水栓を用いるもの	
静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	
給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	給水装置作動状況	
自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	自動加圧装置作動状況	
静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	静水圧測定	
最下位	最下位	最下位	最下位	最下位	最下位	最下位	最下位	最下位	最下位	
最上位	最上位	最上位	最上位	最上位	最上位	最上位	最上位	最上位	最上位	
放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	放水圧	
放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	放水流量	
同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	同時放水試験	
個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	

①

屋内消火栓消火設備

試験項目	試験状態	種別・容量等の内容	結果
操作性試験 (易操作性1号・2号消火栓)	操作性試験 (易操作性1号・2号消火栓)	操作性試験 (易操作性1号・2号消火栓)	操作性試験 (易操作性1号・2号消火栓)
非常電源切替装置	非常電源切替装置	非常電源切替装置	非常電源切替装置
自家発電設備	自家発電設備	自家発電設備	自家発電設備
蓄電池設備	蓄電池設備	蓄電池設備	蓄電池設備
燃料電池設備	燃料電池設備	燃料電池設備	燃料電池設備

②

備考

- この川線の大まさは、日本工業規格A4とする。
- 選取板のある側は、該字する事項を○印で明記すること。
- Aは主要構造部を耐火構造とし内装耐燃したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で耐火制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。
- ※印の試験は、「加工送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示がなされているものについては、省略することができる。
- 結果の欄には、良否を記入すること。
- 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 図面が添付されているものについては、報告書に添付すること。

別記様式第三を次のように改める。

別記様式第3

スズリポンクラー設備試験結果報告書					
試験実施者 住所 氏名			試験実施日	年	月
			年	月	日
印					
用	( )項	構造	階	階	階
加圧送水装置の種別		方式			
流水検知装置の方式		方式			
スズリポンクラーヘッド		方式			
試験					
水 (水道の用に供する水管を水源とするものを除く。)	種類	水源の種類・構造	種別・容量等の内容		結果
		水	n <sup>3</sup> (縦 m 横 m 有効深さ m)		
	給	吸水障害防止措置	有		無
		給水装置	有		無
		耐震措置	有		無
試験					
加圧送水装置の	ポンプの仕様	製造者名	定格吐出量		ℓ/min
		型式	定格全揚程		m
		製造者名	製造番号		
	電動機の仕事	型式	種別		型電動機
		製造番号	定格電圧		V
			定格電流		A
			出力		kVA
燃料種別					
型式					
製造番号		定格回転数		r/min	

別記様式第3

試験			項目			種別・容量等の内容			結果
加圧送水装置の	ポンプ	性能試験装置の配管・バルブ類	水	鋼板製・合成樹脂製		ℓ			
			水	管の厚み		A			
			水	管の厚み		A			
			水	管の厚み		A			
			水	管の厚み		A			
			水	管の厚み		A			
	制御装置	圧力計・連成計	制御	制御		等			
				制御		等			
				制御		等			
				制御		等			
				制御		等			
				制御		等			
起動	起動用水圧制御装置	起動用水圧	起動用水圧		第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器				
			起動用水圧		ℓ				
			起動用水圧		A				
			起動用水圧		A				
			起動用水圧		A				
			起動用水圧		A				
F 動式	起動装置	起動装置	起動装置		床面からの高さ	m			
			起動装置						
			起動装置						
			起動装置						
			起動装置						
			起動装置						

スプリンクラー設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験結果	
			内容	結果
加圧送水装置	高圧水櫃の構造	高圧水櫃の構造	有	無
	高圧水櫃の配管・バルブ類	高圧水櫃の配管・バルブ類	有	無
配管・バルブ類	配管・バルブ類	配管・バルブ類	有	無
	配管・バルブ類	配管・バルブ類	有	無
放水区域の数・状況	放水区域の数・状況	放水区域の数・状況	有	無
	放水区域の数・状況	放水区域の数・状況	有	無
スプリンクラーヘッド	スプリンクラーヘッド	スプリンクラーヘッド	有	無
	スプリンクラーヘッド	スプリンクラーヘッド	有	無

③

スプリンクラー設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験結果	
			内容	結果
制御弁	制御弁	制御弁	有	無
	制御弁	制御弁	有	無
水流検知装置・圧力検知装置	水流検知装置・圧力検知装置	水流検知装置・圧力検知装置	有	無
	水流検知装置・圧力検知装置	水流検知装置・圧力検知装置	有	無
一斉開放弁	一斉開放弁	一斉開放弁	有	無
	一斉開放弁	一斉開放弁	有	無
末端試験弁	末端試験弁	末端試験弁	有	無
	末端試験弁	末端試験弁	有	無
自動警報装置	自動警報装置	自動警報装置	有	無
	自動警報装置	自動警報装置	有	無
送水口	送水口	送水口	有	無
	送水口	送水口	有	無
減圧	減圧	減圧	有	無
	減圧	減圧	有	無
放水設備	放水設備	放水設備	有	無
	放水設備	放水設備	有	無
補助放水栓	補助放水栓	補助放水栓	有	無
	補助放水栓	補助放水栓	有	無

④

⑤ ストリンクラー設備

試験項目		日	種別・容量等の内容	結果		
外観試験	補助散水検査等	散水栓	消防栓開閉弁			
		散水栓箱	周囲の状況			
			設置状況			
			材質等			
			赤色灯			
	ホース・ノズル	ホース (結合金具を含む。)				
		ホース接続口				
		ノズル				
		結合状態				
		収細状態	ホースリール式・折返等収細式			
機能試験	ポンプを加圧装置を用いるもの	呼水装置試験	減水警報装置作動状況	感面からの高さ	cm	
		制御装置試験	自動給水装置作動状況			
			呼水槽からの水の供給状況			
			起動・停止操作時の状況等			
			電流切替時の運転状況			
	ポンプ試験	起動表示の点灯状況				
		起動用水圧開閉装置の作動圧力		MPa		
		運転状況				
		※縮切り運転時の状況				
		※定格負荷運転時の状況				
高架水槽を用いるもの	※ホース性能試験装置試験	逆し水量		$l/min$		
		表示値の差		$l/min$		
	※ポンプ性能試験装置試験	動作試験				
		給水装置作動状況				
		静水圧測定	最下位 MPa	最上位 MPa		

⑥ ストリンクラー設備

試験項目		日	種別・容量等の内容	結果	
機能試験	加圧送水装置試験	圧力水槽を用いるもの	給水装置作動状況		
			自然加圧装置作動状況		
		配管式補助装置試験	管径		
			水圧試験	最下位 MPa	最上位 MPa
			試験圧力		MPa
	流水検査装置表示等	放水	放水区	自動火災感知装置による起動	
				手動起動装置による起動	
		放水性能等	放水性能		
			放水圧力 (MPa)		
			放水流量 ( $l/min$ )		
補助散水栓試験	非常電源切替試験	自家発電設備	ホースリール式・折返等収細式		
			自給電池設備		
	放水試験	放水流量	放水圧力		
			放水流量		
			放水圧力	MPa	

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 逆射の試験は、該当する事項を○印で明記すること。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成9年消防庁令第8号)に適合している旨の表示がなされているものにあっては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合評価が設けられているものにあっては、総合評価についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第四を次のように改める。

別記様式第 4

水噴霧消火設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住所

氏名

印

用途 ( ) 項	構造	地上	階	地階	階
床面積	m <sup>2</sup>	階	数	種別・容量等の内容	結果
試験項目					
水源の種類・構造					
水量	m <sup>3</sup> (雑 m <sup>3</sup> 有効深さ m)				
水	有				
吸水障害防止措置					
給水					
耐震措置					
設置					
場所					
製造者名	製造者名	製造番号	製造番号	製造番号	製造番号
ボンプの仕様	型式	型式	型式	型式	型式
電動機の仕様	製造者名	製造番号	製造番号	製造番号	製造番号
型式	型式	型式	型式	型式	型式
種類	種類	種類	種類	種類	種類
定格電圧	定格電圧	定格電圧	定格電圧	定格電圧	定格電圧
定格電流	定格電流	定格電流	定格電流	定格電流	定格電流
出力	出力	出力	出力	出力	出力
製造番号	製造番号	製造番号	製造番号	製造番号	製造番号
設置状況	設置状況	設置状況	設置状況	設置状況	設置状況
接地	接地	接地	接地	接地	接地
ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機
配管・バルブ類	配管・バルブ類	配管・バルブ類	配管・バルブ類	配管・バルブ類	配管・バルブ類
ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機
水温上昇防止のための遮断装置	水温上昇防止のための遮断装置	水温上昇防止のための遮断装置	水温上昇防止のための遮断装置	水温上昇防止のための遮断装置	水温上昇防止のための遮断装置
ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機	ボンプ・電動機
性能試験装置の配管・バルブ類	性能試験装置の配管・バルブ類	性能試験装置の配管・バルブ類	性能試験装置の配管・バルブ類	性能試験装置の配管・バルブ類	性能試験装置の配管・バルブ類

水噴霧消火設備

試験項目	種類・容量等の内容	結果
材質	鋼板製・合成樹脂製	
水		
溢水用排水管	管の呼び	
吸水用排水管	管の呼び	
給水管	管の呼び	
減水警報装置	フロートスイッチ・電極	
設置場所		
制御装置		
制御品等		
接地工事	種接地	
設置位置		
性能		
減圧措置	有・無	
動作部		
起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	
タンクの容量	管の呼び	
配管・バルブ類		
配管・バルブ類		
設置場所等		
設置高さ	床面からの高さ	
構造		
検査装置		
流水		
高圧水櫃を用いるもの		
構造		
内容積・容量	m <sup>3</sup>	
高さ	m	
種類・構造		
内容積・有効圧力	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	
種類・構造	m <sup>3</sup>	
有効圧力	MPa	
自動加圧装置	有・無	
配管・バルブ類		
水位計・圧力計		
構造		
有・無		

水噴霧消火設備

試験項目		種別・容量等の内容		結果	
外観試験	配管・バルブ類	設置状況			
		配管の種類			
	機器	バルブ類			
		噴射ヘッド			
	防食	防食措置	有		
		耐震措置	有		
	電源	電源の種類	専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池		
		電圧	V		
	機能試験	放射区域の数及び設置状況	放射区域の数		
			設置状況		
配管への取付		配管の種類			
		配管の径			
噴射ヘッド		噴射ヘッドの種類			
		自動火災感知装置			
設置場所		設置場所			
		設置高さ	床面からの高さ	m	
制御		構造			
		表			
流水検知装置・圧力検知装置	種別・口径				
	減圧性能				
起動操作	設置場所				
	設置高さ	床面からの高さ	m		
起動操作	起動操作				
	構造				

③

水噴霧消火設備

試験項目		種別・容量等の内容		結果
外観試験	自動警報装置	音響警報装置		
		火災表示装置		
	床面の勾配	排水溝・集水管		
		排水溝の位置		
	排水設備	排水ポンプ		
		設置位置		
	区画境界線の高さ	床面からの高さ		cm
		底面からの高さ		cm
	呼水装置	呼水装置動作状況		
		自動給水装置動作状況		
制御装置	呼水槽からの水の補給状況			
	起動・停止操作時の状況等			
ポンプの起動状況等	電源切替時の運転状況			
	ポンプの起動状況等			
加圧送水装置	起動用水圧開閉装置の動作状況		MPa MPa MPa	
	運転状況			
ポンプ試験	総切換率		m	
	※細切り運転時の状況		V	
※定格負荷運転時の状況	電流		A	
	電圧		V	
※水温上昇防止装置試験	電流		A	
	表示値の差		°C	
高圧水槽を用いるもの	※ポンプ性能試験			
	給水装置動作状況			
高圧水槽を用いるもの	動作試験			
	給水装置動作状況			
圧力水槽を用いるもの	動作試験			
	自動加圧装置動作状況			
配管耐圧試験	静水圧測定		MPa MPa MPa	
	動作試験			
手動式起動装置試験	動作試験			
	動作試験			
流水検知装置表示等	動作試験			
	動作試験			

④

水収容消火設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験	
			放 射	放 射
総合試験	放 射 区 域		自動火災感知装置による起動	
			手動火災感知装置による起動	
	放射能力(MPa)	放 射 状 況	高	
			低	
放水設備	放水ピストンの水位	区画境界埋の状態		
		排水状況		
非常電源切り替え試験	自家発電設備			
	蓄電池設備			
	燃料電池設備			

備考1 この川幅の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 遊具版のある欄は、該当する非該当を○で囲むこと。

3 添付の試験は、「加工送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び種類についての試験結果報告書を添付すること。

6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第五を次のように改める。

別記様式第5

消火水設備試験結果報告書 試験実施日 年 月 日 試験実施者 住 所 氏 名			
用 途	( ) 項	構 造	階 階
延べ面積	㎡	階 数	地上 階 地下 階
試験項目 水源の種類・構造 水量 吸水障害防止措置 給 水 装 置 耐 震 措 置		試験項目 移動式 種別・容量等の内容 結果	
設置場所 製造者名 型式 製造番号 定格吐出量 (l/min) 定格全揚程 (m) 製造者名 型式 製造番号 定格吐出量 (V) 定格電圧 定格電流 (A) 製造番号 出力 (kVA)			
加圧ポンプの仕様 電 動 機 の 仕 様 型式 製造番号 製造者名 型式 製造番号 定格吐出量 (l/min) 定格全揚程 (m)			
送水装置 配管工事 ポンプ・電動機 配管・バルブ類 オリフィス等 管の内径 (A) 流道口径 (mm)			

② 泡消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
呼水装置	呼水排水管	管の呼び	φ
	呼水排水管	管の呼び	A
	補給水管	管の呼び	A
	滅水警報装置	フロートスイッチ・電極	A
制御装置	設置場所		
	制御品等		
	接地工事		種接地
圧力計・連成計	設置位置		
	接続性能		接続
直接操作部		有・無	
起動用水圧開閉装置	起動用圧力タンクの容量	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	ℓ
自動式起動装置	配管・バルブ類	管の呼び	A
自動式起動装置	閉鎖型スリソナード		
	自動火災感知装置		
	設置場所等		
	設置高さ	床面からの高さ	m
	検知装置		
	構造		
高架水槽を用いるもの	内容積・落差	m <sup>3</sup>	m
	配管・バルブ類		
	水位計		
	種類・構造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	MPa
	内容積・有効圧力		
	自動加圧装置	有・無	
	配管・バルブ類		
	水位計・圧力計		
	構造	有・無	

③ 泡消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
配管・バルブ類	配管		
	バルブ類		
機器	吸水管		
	フット弁		
防錆	防錆措置	有・無	
	防錆措置	有・無	
非常用電源	非常用電源の種類	単相交流・自家発電・蓄電池・燃料電池	V
	非常用電源の種類		
防射区域又は放射源区域の状況及び	防射区域等の数		
	発泡方式(高発泡・低発泡)		
配管等の配管への取付	取付方向		
	取付高さ		
泡放出口	泡放出口		
	高発泡泡放出口		
設置場所等	設置高さ	床面からの高さ	m
	構造		
制御	装置		
	設置場所等		
流水検知装置・圧力検知装置	種類・口径		
	構造・性能		
起動操作部	設置場所等		
	設置高さ	床面からの高さ	m
起動操作部	構造		
	試験性能		





電池火設備

⑤

試験項目	種別・容量等の内容					結果
	25%還元時間(sec)	放射区域	放射圧力	放射速度	放射圧力	
電池火設備 (低発泡によるもの) 移動式	放射区域					
	放射圧力		MPa		MPa	
	放射速度		l/min		l/min	
	希望容量		%		%	
	25%還元時間		sec		sec	
	放射区域					
	起動性	自動火感測装置による起動				
	起動等	手動起動装置による起動				
	自動閉鎖装置の作動状況					
	放射圧力の測定 (MPa)					
非常電源切替試験	自家発電設備					
	蓄電池設備					
	燃料電池設備					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。  
 2 試験機のある欄は、該当する事項を O 印で明記すること。  
 3 本項の試験は、「加圧放水装置の基準 (平成 9 年消防庁告示第 8 号)」に適合している旨の表示がなされているものにあつては、省略することができる。  
 4 結果の欄には、良否を記入すること。  
 5 非常電源及び構造に関する試験結果報告書添付すること。  
 6 照付図が添付されているものにあつては、操作図についての試験結果報告書添付すること。

別記様式第六を次のように改める。

別記様式第 6

⑥

不活性ガス消火設備試験結果報告書

試験実施者 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

試験実施日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

設置場所	防 火 局 象 物 の 種 別	設置日	種別・容量等の内容	結果
設置場所				
防 火 局 象 物 の 種 別				
設置日				
種別・容量等の内容				
結果				

試験項目	種別・容量等の内容		結果
	種別	容量等の内容	
移動式	設置場所		
	起動性		
	起動等		
	自動閉鎖装置の作動状況		
	放射圧力の測定 (MPa)		
	自家発電設備		
	蓄電池設備		
	燃料電池設備		
	貯蔵容器等		
	起動用ガス容器		

不活性ガス消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
手動起動装置	設置場所等	設置高さ	床面からの高さ m
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
自動起動装置	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
警報装置	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
制御装置	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
配管・配線等	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	

②

不活性ガス消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
防煙区画	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
制御装置	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
手動試験	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
自動試験	設置場所等	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	
	設置位置	設置高さ	

③

不活性ガス消火設備

機 能	試 験 項 目		種 別・容 量 等 の 内 容	結 果
	試 験 項 目	試 験 状 況		
能 能 能 能 能 能 能 能 能 能	容器弁開放作動試験	自動警報作動状況		
	選 択 弁 作 動 試 験			
	閉 止 弁 作 動 試 験			
	消 火 剤 排 出 試 験			
	貯蔵装置 連動試験	作 動 状 況		
		復旧操作状況		
	放 出 表 示 灯 試 験			
	防護区画 に隣接す る部分の 保安措置 試験	消火剤排出状況 作 動 状 況		
		警報装置作動状況		
		始 動 状 況		
自動冷凍 機試験	電 流	A		
	温 度・圧 力	℃		
	遠 測 作 動 状 況・ 放 出 系 路	MPa		
合 合 合 合 合 合 合 合 合 合	通 気 状 況			
	気 密 状 況			
	区画別貯蔵容器開放 警報装置作動状況			
	放 出 表 示 灯 点 灯 状 況			
	附 属 装 置 作 動 状 況			
	移 動 式	移 動 式 作 動 状 況		
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考	総合作動 試験 全機放出 方式又は 局所放出 方式			

①

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
  - 2 選択区画のある機は、該当する事項を○印で開くこと。
  - 3 結果の際には、良否を記入すること。
  - 4 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
  - 5 検印等の設けられているものについては、検印等についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第 8 を次のように改める。

別記様式第 8

設 置 階		防 護 灯 象 物 の 種 別		設 計 放 出 時 間		種 別・容 量 等 の 内 容		結 果	
設 置 階	防 護 灯 象 物 の 種 別	設 計 放 出 時 間	種 別・容 量 等 の 内 容	結 果	設 置 階	防 護 灯 象 物 の 種 別	設 計 放 出 時 間	種 別・容 量 等 の 内 容	結 果
設置場所									
固定式	全機放出方式	局所放出方式							
移動式									
貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等	貯 蔵 容 器 等
貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等	貯蔵場所等
長 尺	長 尺	長 尺	長 尺	長 尺	長 尺	長 尺	長 尺	長 尺	長 尺
貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器	貯 蔵 容 器
貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式	貯蔵式
貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置	貯蔵容器開放装置
定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置	定圧作動装置
安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比	安 全 比
設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所	設 置 場 所
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス
機 器	機 器	機 器	機 器	機 器	機 器	機 器	機 器	機 器	機 器
加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス	加圧用ガス
容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置	容 器 弁 開 放 装 置
種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別
量	量	量	量	量	量	量	量	量	量
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

①

粉未消火設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住所

氏名

印

粉末消火設備

②

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験	
			装置	場所
起動用容器	構造等	—	機器	設置場所
				設置高さ
選取弁	設置場所等	—	機器	設置場所
				設置高さ
手動起動装置	設置場所等	—	機器	設置場所
				設置高さ
				設備表示
				取扱表示
				塗色等
				防護措置
				表示灯
				スイッチ
				設置場所等
				構造等
自動起動装置	設置場所等	—	機器	設置場所
				構造等
警報装置	警報の方式	—	機器	設置場所
				構造等
制御装置	機器等	—	機器	制御盤
				表示灯・スイッチ類
				防護増設装置
				進延装置
配管・バルブ類	配管系統等	—	配管	設置場所
				構造等

粉末消火設備

③

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験	
			装置	場所
配管・バルブ類	構造等	—	機器	設置場所
				設置高さ
安栓	設置場所等	—	機器	設置場所
				設置高さ
噴射ヘッド	防護区画等	—	機器	設置場所
				設置高さ
防護区画等	開口部の自動閉鎖装置等	—	機器	設置場所
				設置高さ
非常電流の電源	非常電流の電源	—	機器	設置場所
				設置高さ
電線	電線	—	機器	設置場所
				設置高さ
ノズル・ホース等	構造等	—	機器	設置場所
				設置高さ
表示灯・標識	表示灯・標識	—	機器	設置場所
				設置高さ
防護区画	防護区画	—	機器	設置場所
				設置高さ
遠隔動作試験	遠隔動作試験	—	機器	設置場所
				設置高さ
容器弁開放装置の動作試験	容器弁開放装置の動作試験	—	機器	設置場所
				設置高さ
制御装置試験	制御装置試験	—	機器	設置場所
				設置高さ
警報装置試験	警報装置試験	—	機器	設置場所
				設置高さ
付属装置	付属装置	—	機器	設置場所
				設置高さ
動作状況	動作状況	—	機器	設置場所
				設置高さ
復旧操作状況	復旧操作状況	—	機器	設置場所
				設置高さ

粉木消火設備

④

試験項目	種別・容量等の内容	結果	
			試験項目
機能試験 作動試験	定圧作動装置試験	作動圧力 (MPa)	
	放出試験	作動時間 (sec)	
		圧力調整装置試験	
	クラーニング装置試験	選取作動状況・放出系統	
		通気状況	
	総合作動試験	気密状況	
		警報警報装置作動状況	
		放出表示灯点灯状況	
		附属装置作動状況	
	移動式	移動式作動状況	

- 備考 1. この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。  
 2. 測定値のある欄は、該当する事項を○印で示すこと。  
 3. 結果の欄には、良否を記入すること。  
 4. 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。  
 5. 操作能が保たれているものにあつては、操作能についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第九を次のように改める。

別記様式第九

①

屋外消火栓設備試験結果報告書			
試験実施者		試験実施日	
住所		年 月 日	
氏名			
印			
用 途 ( ) 項	造 型	A	B
延べ面積	m <sup>2</sup>	階 数	地上
試 験 項 目		種別・容量等の内容	
水源の種類・構造			
水 量	吸水量防止措置	有 ・ 無	
耐 震 措 置	有 ・ 無		
設 置 場 所		製造者名	
ポンプの仕様		型式	製造番号
電動機の仕様		型式	製造番号
設置状況		定格出力	定格電圧
接地工事		定格電流	種別
配 線		製造番号	製造者名
潤 滑 油		製造番号	製造者名
水温上昇防止のための連し装置		製造番号	製造者名
ポンプ・電動機		製造番号	製造者名
加圧送水装置		製造番号	製造者名
ポンプの仕様		製造番号	製造者名
配管・バルブ類		製造番号	製造者名
オリフイス等		製造番号	製造者名
管の径		製造番号	製造者名
流路口径		製造番号	製造者名
mm		製造番号	製造者名

屋外消火栓消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
加圧送水ポンプを用いるもの	呼水装置	鋼板製・合成樹脂製	
	水	管の呼び	φ
	溢水用排水管	管の呼び	A
	呼水	管の呼び	A
	箱給水管	管の呼び	A
	減水警報装置	フロートスイッチ・電種	
	設置場所		
	制御品等		
	接地工事	和接地	
	圧力計・通電計	性能	級
高架水槽を用いるもの	直接操作部	設置場所等	
	遠隔操作部	設置場所等	
	始動装置	表示灯	
	起動用水圧開閉装置	起動用水圧カタンク容量	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器
	備置	配管・バルブ類	管の呼び
	内容積・落差		m <sup>3</sup>
	配管・バルブ類		m
	水		
	種類・構造		
	内容積・有効圧力	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	m <sup>3</sup>
圧力水槽を用いるもの	配管・バルブ類		MPa
	水位計・圧力計		
	測定装置		
	配管		
	配管・バルブ類		
	内容積・有効圧力		
	日動加圧装置		
	配管・バルブ類		
	水位計・圧力計		
	測定装置		
配管・バルブ類	配管		
	バルブ		
	吸水管		
	排水		
	ポンプ		
	ポンプ		
	ポンプ		
	ポンプ		
	ポンプ		
	ポンプ		

②

屋外消火栓消火設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果
電機	非常電源の種類	専用受電・自家発電・蓄電池・燃焼電池設備	V
	設置場所		
	周囲の状況・操作性		
	開閉弁の設置位置	床面からの高さ	m
	ホースの接続口等		
	消火栓開閉弁		
	表示		
	設置場所		
	周囲の状況		
	材質等		
屋外消火栓箱	ホース(結合器具を含む)		
	ホース接続口		
	ノズル		
	結合状態		
	収納状態		
	位置	ホースリール式・折畳等取組式・その他	
	減水警報装置作動状況	減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁	
	自働給水装置作動状況	床面からの高さ	cm
	貯水槽からの水の漏れ状況		
	起動・停止機構の状況		
加圧送水ポンプを用いるもの	電機切替弁の運転状況		
	ポンプの起動状況等		
	始動表示の点灯状況等		
	起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力	MPa
	運転状況		
	縮切揚程		m
	電圧		V
	電流		A
	電圧		
	電流		

③

屋外消火栓消火設備

Table with columns: 試験項目 (Test Item), 種別・容量等の内容 (Type/Content of Capacity, etc.), 結果 (Result). It details various tests like 加圧ポンプ試験 (Pressure Pump Test), 高圧水櫃を用いるもの (High Pressure Water Tank), 非常電源切替装置 (Emergency Power Switching Device), and 非常電源設備 (Emergency Power Equipment).

- 備考 1 この川鎮の大きさは、日本工業規格A4とする。
2 送水機のある欄は、該当する事項を○印で印記すること。
3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装耐燃したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は耐火鋼火建
築物で内装耐燃したもの及びCはA及びB以外のものをいう。

別記様式第十一(ウのシ) 次のとおりとする。

別記様式第十一

Table for fire alarm equipment testing results. Columns include 川 (River), 受信機 (Receiver), 受信機 (Receiver), 送信機 (Transmitter), 受信機 (Receiver), 受信機 (Receiver), 受信機 (Receiver). It lists details such as manufacturer (自動火災報知設備), model (P・C・P型), and test status.



自動火災報知設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果
警報区域	警報区域の設置場所	
受信機	設置場所の状況・操作性	
	構造・性能	床面からの高さ _____ m
中継器	構造・性能	
	容量	
電源	非常電源の種類	AC _____ V
	非常電源専用受電設備・蓄電池設備	
警報装置・設置状況・構造・性能	差動式スボット型	
	定温式スボット型	
	相検合式スボット型	
	熱アナログ式スボット型	
	定温式感知線型	
	差動式分布型(空気管式)	
	差動式分布型(熱電対式)	
	差動式分布型(熱平衡式)	
	煙感知器(光電式分離型及びアナログ式を除く)	
	イオン化アナログ式スボット型	
	光電アナログ式スボット型	
	熱電対合式スボット型	
光電アナログ式分離型		
受信機	道路の用に供される部分以外	
表示灯		
地区警報装置		

②

自動火災報知設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果
配線	送配線試験	試験回数 1
	線路試験	試験回数 2
	線路試験	試験回数 3
受信機	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
	火災表示機能	
中継器	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
	非常電源試験	
感知器	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
	感知器試験	
地区警報装置	地区警報装置試験	
	地区警報装置試験	

③

- 備考1 この川紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 備考2 選択のある欄は、該当する事項を○印で印付すること。
- 備考3 非常電源(内蔵型以外のもの)及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 備考4 送配線中継器の機能試験は、感知器の作動試験及び蓄電池の作動により確認するものとする。
- 備考5 複合式の感知器の試験は、それぞれの種別に示して行うものとする。
- 備考6 総合操作盤が設けられているものについては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第十一を次のように改める。

別記様式第 12

ガス漏れ火災警報設備試験結果報告書												
試験実施者 住所 氏名					試験実施日 年 月 日							
印												
用途	( ) 項	階数	階層	階層	階層							
階層の床面積の合計 m <sup>2</sup>												
受信機	予備電源	型式	V	定格電圧	AC	DC	V	V	V			
	回線数											
中継器	回線	電源	専用方式 受信機供給方式 その他の方式							予備電源	V	AI
			検知器									
			検知対象 都市ガス用 空気より軽いガス 空気より重いガス その他のもの									
警報装置	検知区域 表示灯	増幅器	定格電圧		出力	W						
			AC		V							
			DC		V							
			スピーカー		音量	W						
			ホーン型 (W)		音量	W						
			その他 (W)		音量	W						
中継器 附属のもの 個												
検知器 附属のもの 個												
その他 個												

ガス漏れ火災警報設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験項目		
			警報装置	検知器	受信機
警報装置	設置場所		ガス漏れ表示灯	検知区域警報装置	ガス漏れ表示灯試験
検知器	設置場所		増幅器	検知対象ガスの空気に対する比電が 1 未満のもの	
	設置場所		検知対象ガスの空気に対する比電が 1 以上のもの		
	設置場所		構造		
受信機	構造		増幅器	検知対象ガスの空気に対する比電が 1 未満のもの	
	構造		検知対象ガスの空気に対する比電が 1 以上のもの		
	構造		構造		
警報装置	設置場所		増幅器	検知対象ガスの空気に対する比電が 1 未満のもの	
検知器	設置場所		検知対象ガスの空気に対する比電が 1 以上のもの		
受信機	構造		構造		



排煙設備

試験項目	種別・容量等の内容	結果
風道	防火区画の貫通部分	
電源	常川電源	V
	非常電源の種類	専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池
試験項目	種別・容量等の内容	結果
揚塵機	感知器等の作動状況	
自動起動試験	揚塵機の作動及び性能状況	
	排煙口の状況	
手動起動試験	起動装置の作動状況	
	揚塵機の作動及び性能状況	
遠隔操作の状況		

備考1 この用紙の大きさ及び、日本工業規格A4とすること。

2 選取のある欄は、該当する事項を○印で開くこと。

3 結果の欄には、良否を記入すること。

4 非常電源及び性能に関する試験結果報告書を添付すること。

5 操作種が記入されているものについては、操作種についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第二十一を次のように改める。

別記様式第二十一

連結送水管 (共同住宅用連結送水管) 試験結果報告書 試験実施日 年 月 日 試験実施者 氏名 印 住所									
用途 ( ) 項	延べ面積	設置位置	設置場所	設置高さ	床面からの高さ	種別・容量等の内容	設置個数	制	結果
送水口	種類	設置位置	設置高さ	床面からの高さ	m				
放水口	機器	送水口	送水口	送水口					
		逆止弁	逆止弁	逆止弁					
放水口	放水口の設置個数	時							
		双口形							
		単口形							
放水口	放水口の設置場所	設置場所	設置場所	設置場所					
		設置高さ	設置高さ	設置高さ	床面からの高さ	m			
		構造	構造	構造					
		設置状況	設置状況	設置状況					
規格箱	材質	材質	材質	材質					

② 送給送水管

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験項目	
			内容	結果
ホースノズル	ホース (結合金具を含む。)		ノズル	
			結合状態	
ポンプの仕様	製造者名 型式 製造番号	c/min m	定格吐出量	
			定格全揚程	
			製造番号	
			型式	
電動機の仕様	製造者名 型式 製造番号	V A kVA	種別	型電動機
			定格電圧	
			定格電流	
			出力	
ポンプ・電動機	設置状況	種接地	設置場所	
			接地工事	
			潤滑油	
			配管・バルブ類	
水送上昇防止のための逃し装置	オリフィス等 ゾーンポンプに設ける逃し配管・逃し装置	m mm	管の呼び	A
			通過口径	
			逃し配管の高さ	
			逃し装置の設置圧力	Mpa
性能試験装置の配管・バルブ類	鋼板製・合成樹脂製	MPa	材質	
			水	
			給排水用排水管	
			呼排水管	
呼水装置	管の呼び	A	給排水管	
			管の呼び	
			管の呼び	
			管の呼び	
制御装置	フロートスイッチ・電極	A	減水警報装置	
			設置場所	
			制御盤	
			接地工事	種接地

③ 送給送水管

試験項目	種別・容量等の内容	結果	試験項目	
			内容	結果
加圧送水管装置	ポンプを用いるもの	V	設置位置	
			設置場所等	
			設置場所等	
			設置場所等	
ポンプを用いるもの	遠隔操作部	V	設置場所等	
			設置場所等	
			設置場所等	
			設置場所等	
配管・バルブ類	材質	A	材質	
			バルブ	
			管	
			吸	
電圧	非常電圧	V	電圧	
			非常電圧	
			非常電圧	
			非常電圧	
高梁・中間水槽	構造	L	構造	
			構造	
			構造	
			構造	
加圧送水管装置	減水警報装置作動状況	cm	減水警報装置作動状況	
			自動給水装置作動状況	
			呼水槽からの水の漏れ状況	
			起動・停止操作時の状況	
ポンプ試験	起動表示試験	V	起動表示試験	
			起動表示試験	
			起動表示試験	
			起動表示試験	
ポンプ試験	縮切機能	V	縮切機能	
			縮切機能	
			縮切機能	
			縮切機能	

送給送水管

試験項目	試験内容	種別・容量等の内容	結果
加圧送水装置試験	※定格負荷運転時の状況	電流	A
	※定格揚程	電圧	V
※水溫上昇防止装置試験	※ボンプ性能試験装置試験	表示値の差	—
	※ボンプ性能試験装置試験	表示値の差	—
配管耐圧試験	加圧送水装置を用いない配管部分	試験圧力	MPa
	加圧送水装置を用いる配管部分	試験圧力	MPa
放水試験	放水圧力	MPa	—
	放水流量	l/min	—
非常電源試験	自家発電設備	—	—
	蓄電池設備	—	—
総合試験	自家発電設備	—	—
	蓄電池設備	—	—
備考	燃料電池設備	—	—
	—	—	—

①

- この川線の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 送水機のある側は、該当するものを○印で明記すること。
- ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成 9 年消防庁告示第 8 号)に適合している旨の表示が付けられているもの又は建設副産物が行われたものにおいて、省略することができる。
- 結果の欄には、良否を記入すること。
- 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 設備圖を添付されているものについては、設備圖についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第二十九を次のように改める。

別記様式第 29

①

総合操作機試験結果報告書											
試験実施者				住所				氏名			
川 途 ( ) 項											
総合操作機	延べ面積	m <sup>2</sup>	階数	地上	階	階	階	階	階	階	階
消防用設備等の種類	<input type="checkbox"/> 屋内消火栓設備	<input type="checkbox"/> エアリリクラー設備	<input type="checkbox"/> 水噴霧消火設備								
	<input type="checkbox"/> 泡射火設備	<input type="checkbox"/> 不活性ガス消火設備	<input type="checkbox"/> ハロゲン化物消火設備								
	<input type="checkbox"/> 粉末消火設備	<input type="checkbox"/> 屋外消火栓設備	<input type="checkbox"/> 自動火災警知設備								
	<input type="checkbox"/> ガス漏れ火災警報設備	<input type="checkbox"/> 放送設備	<input type="checkbox"/> 誘導灯								
	<input type="checkbox"/> 非煙設備	<input type="checkbox"/> 連結放水設備	<input type="checkbox"/> 連結送水管								
	<input type="checkbox"/> 非常コンセント設備	<input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	<input type="checkbox"/> —								
	<input type="checkbox"/> 非煙設備	<input type="checkbox"/> 非常用の照明装置	<input type="checkbox"/> 機械換気								
	<input type="checkbox"/> 空気調和	<input type="checkbox"/> 非常用エレベーター	<input type="checkbox"/> 防火区画(構成機器設備)								
	<input type="checkbox"/> 防煙区画(構成機器設備)	<input type="checkbox"/> 非常錠設備	<input type="checkbox"/> ITV 設備								
	<input type="checkbox"/> ガス緊急遮断弁	<input type="checkbox"/> —	<input type="checkbox"/> —								
定帯電圧	AC	V	DC	V							
予備電源	V	All									
非常電源	自家発電設備	単相・三相	AC・DC	V	KVA	専用・共用					
	蓄電池設備	DC	V	AU	充電方式	トリクル・浮動	専用・共用				
設置場所等	種類	音	響	V	dB	音	V	dB			
設置場所等	設置場所										
	周囲の状況・操作機										
設置状況											
性能											
床面からの高さ	m										

総合成年監

2

試験項目	種別・内容等	結果
表示用品等		
電源	非常電源の種類 A・C V	
構成機器	非常電源	
消防用設備等	非常機	
	警報機	
	機	
	機	
防災設備等	表示機	
	警報機	
	機	
制御伝達機能	機	
	機	
	機	
	機	
	機	
消防活動支援機能	支機	
	機	
	機	
	機	
運用管理支援機能	ガイダンス機能	
	脱離機能	
	自己診断機能	
	電源の切替機能	V
非常電源	電源の切替機能	

備考1 この目録の大きさは、日本T架規格A4とする。  
備考2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

別記様式第三十一を次のように改める。

別記様式第31

00

パツケーヅ型自動消火設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住 所

氏 名

印

用 途 ( ) 項	構造	A・B・C
延べ面積	階 数	地上 階 地下 階
認定型式番号	防 護 面 積	m <sup>2</sup>
機 器 号	型 式	型 式 造 成 設 置 数
種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		
試 験 項 目	備 考	
パツケーヅ	ユニット	本体
同時放射区	火 災	種別
貯 蔵 機 器	貯蔵容器	種類
	加圧式	バルブ類
	加圧式	貯蔵容器
	加圧式	バルブ類
	加圧式	バルブ類
加圧用ガス容器等	加圧用機器	加圧用ガス容器
	容器	装置
	容器	装置
	容器	装置
	容器	装置
	容器	装置

パナケーシ型自動消火設備

②

試験項目	種別・容量等の内容	結果
配管		
加圧用ガス	MPa	
感知部		
起動装置		
手動起動装置		
表示灯・スイッチ		
受信装置		
防犯用品		
中継装置		
選取装置		
機外形		
機内装置		
配管系統		
配管径		
耐震措置		
設置方法		
配管との接続		
放出口		
機器		
電源	V	
非常電源 (内蔵型のものに限る。)		
貯蔵容器、加圧用ガス容器等		
指示圧力計		
バルブ		
圧力調整器		
逆戻し装置		
起動装置		
手動起動装置		
警報及び表示		
受信装置		

パナケーシ型自動消火設備

③

試験項目	種別・容量等の内容	結果
中継装置		
非常電源	V	AI1
端子電圧・容量		
選取赤起動装置		
音響警報作動状況		
総合試験		
総合試験		

備考

- この試験の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 選取装置のある場合は、該当する事項を○印で囲むこと。
- Aは主要構造部を耐火構造とし内装耐震したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は内装耐火構造の内装耐震したもの及びCはA及びB以外のものをいう。
- 結果の欄には、良否を記入すること。
- 非常電源 (内蔵型以外のもの) が設置されているものについては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。





特定小規模施設用自動火災報知設備

⑧

試験	試験項目		種別	内容	結果
	配線	配線			
機能	送配線試験	試験回路—1			
	線路設備	試験回路—2			
機	無線	火災発生試験	保持機能		
		受信	受信機機能		
			受信機機能		
	受信機	受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
	受信機	受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
機	受信機	受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
	受信機	受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
	受信機	受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
		受信機機能	受信機機能		
受信機	受信機機能	受信機機能			
	受信機機能	受信機機能			
	受信機機能	受信機機能			
受信機	受信機機能	受信機機能			
	受信機機能	受信機機能			
備考	地区音響装置				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
	動作試験				
動作試験					

- 備考1 この用紙の大きさ、日本工業規格A4とすること。
- 2 請求状のある欄に、該当する事項を○印で印すること。
- 3 非常通報（火災警報以外のもの）及び警報機についての試験結果報告を添付すること。
- 4 警報機以外の警報機の機能試験は、感知器の作動試験及び受信機機能の作動により確認するものとする。
- 5 複合式の感知器の試験は、それぞれの種類にばらばらで行うものとする。

特定小規模施設用自動火災報知設備

(その2)

地区	音響装置	感知器				受信機				備考
		熱感	光電	イオン化	複合	熱感	複合	イオン化	複合	
合計										

- 備考1 この用紙の大きさ、日本工業規格A4とすること。
- 2 受信機の表示番号ごとに別表を記入すること。（受信機を設置する場合は限る。）
- 3 アナログ式及び自動試験機付きのものは、階又は等層区分ごとに設置されている個数を記入すること。



複合器具用施設用自動火災報知設備

備考	項目	試験		種別	内容及び結果
		試験項目	試験結果		
備考1 この川條の大きさは、日本工業規格A4とする。 2 遠隔地のある標は、該当する事項を○印で明記。 3 非常電線（防線別以外のもの）及び配線についての試験結果報告を添付すること。 4 器形式や設置の場所等は、感知器の作動試験及び受信機からの伝送による確認することとする。 5 複合式の感知器の数は、それぞれ別の標記にて行うものとする。 6 総合報告書が添付されているものについては、総合報告書について試験結果報告を添付すること。	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	
	受信機	受信機動作試験	受信機動作試験	受信機動作試験	

③

附則

- この告示は、公布の日から施行する。
- この告示による改正後の消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件別記様式第二、別記様式第三、別記様式第四、別記様式第五、別記様式第六、別記様式第八、別記様式第九、別記様式第十、別記様式第十二、別記様式第十九、別記様式第二十一、別記様式第二十九、別記様式第三十一、別記様式第三十五及び別記様式第三十七に規定する様式は、前項の規定にかかわらず、平成二十四年十一月三十日までの間は、なお従前の例によることができる。

○消防庁告示第四号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第十二条第一項第四号ハロの規定に基づき、蓄電池設備の基準（昭和四十八年消防庁告示第二号）の一部を次のように改正する。

平成二十四年三月二十七日  
消防庁長官 久保 信保

- 第二号中ロをハとし、ロをイとし、イをロとし、ロの次に次のように加える。
- （イ）リチウムイオン蓄電池は、電気用品の技術上の基準を定める省令（昭和三十七年通商産業省令第八十五号）別表第九リチウムイオン蓄電池に適合し、かつ、JISC八七一（ポータブル機器用リチウム二次電池）に適合するもの又はこれと同等以上の構造及び性能を有するものであること。
- 第三号中「自動的に充電でき」を「リチウムイオン蓄電池以外の蓄電池を用いる蓄電池設備の充電装置にあつては、自動的に充電でき」に改め、同号中ロをイとし、イをロとし、ロをハとし、ハをイとし、イをロとし、ロの次に次のように加える。
- （ロ）リチウムイオン蓄電池を用いる蓄電池設備の充電装置にあつては、定電流定電圧充電により充電できるもの又は自動的に充電でき、かつ、充電完了後は、浮動充電に自動的に切り替えるものであること。

- 第二第六号「ロ中一ホ（ホ）に一を」へ（ホ）に改める。
- 第三に次の一号を加える。
- 六 リチウムイオン蓄電池を用いるものにあつては、組電池当たりの定格電圧及び定格容量

附則  
この告示は、平成二十四年六月一日から施行する。

○消防庁告示第五号

消防法施行規則の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じ行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を定める件（平成十六年消防庁告示第九号）第二第一号及び第二号並びに第四の規定に基づき、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件（昭和五十年消防庁告示第十四号）の一部を次のように改正する。

平成二十四年三月二十七日  
消防庁長官 久保 信保

別表第二十一「オ中「及び浮動充電電圧」を「浮動充電電圧及び定電流定電圧充電電圧」に改める。

別表第二十九「ロ中「充電装置」を「充電装置及び充電装置」に改め、同表中ロのイ及びロを

- （6）とし、（4）を（5）とし、（3）を（4）とし、（2）の次に次のように加える。
- （3） 充電装置  
機能が正常であること。

別記様式第十六 (その一) き次のように改める。  
別記様式第 16

(その 1)

名称	所在	機器	番号	点検年月日	年	月	日	点検者 氏名	所属会社	点検結果		措置内容	
										修理 内容	不良 内容		
誘導灯及び誘導標識										点検票			
										防犯 カメラ			
										立会者			
										種別・容量等の内容	再	不良内容	
										種類	通	客	不良内容
										機種	点	検	措置内容
										種類			
										視認性等			
										外形			
										示			
										外形			
										示			
										非常電			
										源			
										点検			
										ス			
										イ			
										ツ			
										チ			
										類			
										ヒ			
										ユ			
										ー			
										ズ			
										類			
										結			
										線			
										接			
										続			
										形			
										外			
										箱			
										線			
										接			
										続			
										能			
										機			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。  
 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の際指示した内容を記入すること。

別記様式第二十五 (その二) を次のように改める。

別記様式第 25

非常電源 (非常用設備) (その 2)

外形	形				
表	示				
開閉器・遮断器					
変流器	入	力	電	圧	V
トリクル・浮動・移動					
定電流定電圧系電圧	トリクル	浮動	移動		V
均等充電電圧					V
出力	電	流			A
負荷	電	圧			V
負荷	電	流			A
自動充電切り	停				
接地					
外形	形				
天	示				
開閉器・遮断器					
交流出力	電	流			V
交流出力	電	流			A
周波数					Hz
接地					
外形	形				
表	示				
開閉器・遮断器					
交流入力	電	圧			V
交流出力	電	流			A
変電	電	流			
変電	電	圧			
交流出力	電	流			
交流出力	電	流			
接地					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。  
 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の際指示した内容を記入すること。

別記様式第二十八(その二)を次のように改める。

別記様式第28

パワーカー・ジ型新火設備(その2)

手動式起動装置	同 閉 の 状 況	形 状					
	外 表	形 状					
配	ホ	管					
	ホ	管					
ホ	ホ	管					
	ホ	管					
ホ	ホ	管					
	ホ	管					
ホ	ホ	管					
	ホ	管					
総 合 点 検							
ノ	ズ	ル	閉	閉	ホ	ホ	ホ
ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ	ホ
ホース・ホース接続部							
備考							
測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 点検結果の種類別等の内務欄は、該当するものについて記入すること。
  - 測定欄は、正常の場合は○印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 送取取のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 点検欄には、点検の際の指示した内容を記入すること。
  - ※印のあるものは、(その3)に添綴ごとに点検結果を記入すること。

別記様式第二十九(その二)を次のように改める。

別記様式第29

パワーカー・ジ型自動新火設備(その2)

作	周 閉 の 状 況	形 状				
	外 表	形 状				
動	手 動 作 動 装 置	形 状				
	周 閉 の 状 況	形 状				
後	外 表	形 状				
	外 表	形 状				
信	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
装	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
置	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
中	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
感	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
知	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
選	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
供	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
弁	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
放	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
出	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
口	電 圧 計	形 状				
	電 圧 計	形 状				
※※※非常電源及び配線						

別記様式第二十九(その三)を次のように改める。

別記様式第 29

パッキング型自動消火設備 (その三)

機 器 名		型 式	検査年月日	製造者名	機 器 名	型 式	検査年月日	製造者名
知 強					知 強			
受 箱 装 置					受 箱 装 置			
中 継 装 置					中 継 装 置			
作 動 装 置 の 連 動					作 動 装 置 の 連 動			
作 動 装 置 及 び 選 取 弁					作 動 装 置 及 び 選 取 弁			
放 出 導 管					放 出 導 管			
配 組 盤					配 組 盤			

備考

- この川紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 点検結果の欄別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は O印を、不良の場合は X印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 変更のある欄は、該当事項に O印を付すこと。
- 判定欄には、点検の際の措置した内容を記入すること。
- ※印のあるものは、(その4) に器具ごとに点検結果を記入すること。
- ※※印のあるものは、別表第 23、別表第 24、別表第 25 に規定する非常電線の点検の基準並びに別表第

附 則

- この告示は、公布の日から施行する。ただし、別表第二十五及び別記様式第二十五の改正規定は、平成二十四年六月一日から施行する。
- この告示による改正後の消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件別記様式第十六、別記様式第二十五、別記様式第二十八、別記様式第二十九及び別記様式第二十九に規定する様式は、前項の規定にかかわらず、平成二十四年十一月三十日までの間は、なお従前の例によることができる。

## 事務局だより

◎5月24日 当組合第45回通常総会。役員の改選が有ります。  
万障お繰り合わせの上、ご出席ください。

### ◎共済制度について

●消防設備保守・点検・設置工事等の賠償責任保険：

三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携  
しています。請負業者賠償責任保険・生産物（完成工事）賠償責任保険・  
受託者賠償責任保険がセットになった総合型の保険です。

●自動車共済制度：

関東自動車共済共同組合と提携しています。

●団体傷害補償制度：

三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携  
しています。

### ◎ご注文は今後も FAX でお願いします。

組合員の皆様には、いつも FAX でご注文をいただき誠にありがとうございます。  
ご注文の商品名・数量等間違いのない納品をさせて頂くために、  
ご注文は今後とも FAX でお願いいたします。